

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2771
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 再生水利用下水道整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	貴重な水資源の有効利用を図り、水の循環利用を推進するため、再生水利用下水道の整備を行う。昭和62年度から「下水処理水循環利用モデル事業」として事業を行い、平成6年4月から周辺公共施設等へ雑用水の供給を開始した。平成6年の大湯水を契機に、8年度に「再生水下水道事業」として国の事業採択を受け、13年4月にサンポート高松への再生水の供給を開始した。また、13年3月には、サンポート高松に南接する中心市街地（北側）145ha、17年3月には新たに瓦町地区4.4haについて計画区域拡大の事業認可を受け、令和4年3月現在、62施設（旧牟礼町6施設含む）に供給している。		
年度概要	再生水送水管整備 L = 40m		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象(何を)	再生水利用下水道事業計画区域
意図(どのような状態にしたいか)	再生水を利用する施設数の増加により、貴重な水資源の有効利用を図る

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
単年度送水管布設延長	m	0	0	0	40	300

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
再生水利用施設数	施設数	目標値	64	65	65	65	65
		実績値	64	62	62		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 「高松市節水・循環型水利用の推進に関する要綱」に基づき、計画区域内において、大規模建築物(延べ面積2,000㎡以上)を新築・改築する場合に、再生水利用など水利用計画の策定を義務付け、再生水の利用を推進している。	(目標達成度)		(達成度)	95.4%	33点		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)		(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	785	5,400	5,443	7,443
(事業費)	[千円]	0	0	0	2,000
(職員人件費)	[千円]	785	5,400	5,443	5,443

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
再生水の利用促進に努めたが、新たな利用施設は生じなかった。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
既存施設の有効活用が図られるよう、既定の再生水供給区域内において、利用を促進することとしている。			

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	環境総務課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2142
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	我が家の水がめづくり事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「水を賢く使うまち」の実現を目指すため、節水キャラクター「タメット」を活用した節水に関する事業や啓発活動などを「我が家の水がめづくり」と称し、国の定める水道週間や水の週間に合わせたイベントや巧水スタイル推進チームへの参加、ホームページなどの広告媒体の活用による節水意識の啓発、家庭等における節水型ライフスタイル普及策などに取組む。		
年度概要	氷源地域交流物産市開催 巧水スタイル推進チーム参加 水環境学習会開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	水の使用量に関心を持つことにより、節水を含めた水の有効利用の意識向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
水道週間関連イベントの開催回数	回	1	0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	1人1日当たりの水道水平均使用量	L	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	300	304	304		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 【参考:香川県広域水道企業団実績】 給水人口については、顕著な減少を続けている。一方、使用水量は、給水戸数の増加が続いていることや、1戸当たりの使用水量についてもコロナ禍の影響によって家庭用水量が下げ止まるなど、減少にブレーキがかかっており、結果として実績値が減少しづらい状況にある。	(目標達成度)		(達成度) 98.7% 34点				
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)		(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,699	2,993	3,020	3,079
(事業費)	[円]	181	0	0	59
(職員人件費)	[円]	1,518	2,993	3,020	3,020

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

香川県と連携し、事業の推進を図った。また、氷源地域の自治体等と連携し、本市HPでの周知啓発を行った。今後も関係機関と連携し、事業効果を高めていく必要がある。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、氷源地域交流物産市や水環境学習は中止した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

平成 30年度より、水道事業は広域水道企業団に移行しているが、広報など周知啓発において企業団と連携を図りながら、関係機関等とも連携し、事業効果の向上に努める。

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道業務課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2720
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 雨水利用施設整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	雨水貯留施設や浸透ます・浸透管などの浸透施設の整備に対して補助金を交付し、雨水貯留施設等を普及促進することにより、水の循環利用の推進と雨水の流出抑制を図る。								
年度概要	小規模タンク 50基	補助額 1,500千円	中規模タンク 1基	補助額 1,000千円	浄化槽転用 16基	補助額 2,400千円	浸透施設 1件	補助額 30千円	需用費等 19千円
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)						

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民等
意図(どのような状態にしたいか)	高松市全域における、水の循環利用の促進と雨水の流出抑制を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
補助金交付件数	件	25	23	26	68	68

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
雨水流出抑制量	m <sup>3</sup>	目標値		158.6	158.6	158.6	158.6
		実績値		25.9	24.96		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	小規模貯留施設26基の24.96m <sup>3</sup> で、目標158.6m <sup>3</sup> に対して15.7%の実績にとどまっている。 (目標達成度)						(達成度) 15.7% 5点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	4,884	4,517	4,552	8,681
(事業費)	[千円]	957	660	820	4,949
(職員人件費)	[千円]	3,927	3,857	3,732	3,732

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
雨水利用制度をより多くの市民に周知するため、広報・ホームページ等による周知・啓発や建築審査機関への雨水パンフレットの設置を実施。 また、下水接続により不要となった浄化槽の雨水貯留施設への改造に対する上限額の引上げ、中規模施設の助成単価の引き上げ等の拡充を実施。 申請件数は減少傾向にあるため、引続き制度の周知が必要である。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
雨水利用助成制度をより多くの市民に周知するため、広報・ホームページ等やイベントの実施により啓発を行うほか、平成29年度の外部評価で、市民に対して、幼少期より節水意識を高めることが必要との意見が出されたことを受け、令和元年度から、市内の小学校で実施している環境学習を引き続き開催し、雨水の再利用の重要性について周知・啓発を図る。			